

---

# 風にふかれて

ゴン・ザレス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

風にふかれて

### 【Nコード】

N4165Q

### 【作者名】

ゴン・ザレス

### 【あらすじ】

今がすべてではないことを証明したかったんだ

・・・初めはよく分からなかったんだ

どうすることが正しいのか・・・

自分が何をすべきなのか・・・

2011年1月

? 「どいてどいて〜!」

? 「ふう・・・なんとか間に合ったな」

? 「よう。将人」

将人「お!翔!」

俺の名前は将人<sup>まひこ</sup>23歳でいわゆるニート

将来の事、そりゃ不安だけど今は楽しい

今俺は地元の祭りに来ている。

俺と一緒にいる男は翔しょう

小学生からの付き合い

今日は二人で祭りに来ている女の子をナンパしようと思って今からにやにや

そう・・・俺は基本は女好きでだらしないゲータラ人間

でもまさかこの後、俺の人生が変わるなんて

誰も思いもしないよな

俺だって・・・そう「だった」

・・・1時間後

将人「今日は駄目だな・・・」

翔「ああ……かえろつか……」

俺ら名はナンパに失敗し、肩を落としながら帰路につこうとしていた

将人「ふう……このままだ帰るのもつまらんなあ。翔、なんか面白いことないかな?？」

翔「そういえばこの後祭りの出し物ってことで：風神の穴：でなんかあるみたいだぜ?」

将人「出し物??なんだろ?気になる!いこうぜ!?!」

翔「興味ないな……」

将人「なっ?!頼むよ翔!そこでまた女の子見つけたら俺が全部声かけるからさ!な?!」

翔「早くいくぞ将人!!てめえおせえんだよ!!足くせえし!」

将人「……はいよ」

そうして俺らは：風神の穴：へ向かった

## 風神の穴

ずっと昔、お偉いさんが風神を捕まえてこの穴に封印したらしくそ  
うよばれている

その話が本当で、風神が本当にいたとしても何をして封印されたかなどは聞いたことがないし興味もあまり無い

ただ

この日の風神の穴は

何か

怖かったんだ

将人「ついたな・・・」

翔「そうだな。特攻隊長」

将人「お前・・・出し物なんてどうでもいい素振りだな・・・」

翔「YES!! OF COURSE!!」

将人「とりあえずちょっと待てよ・・・っと。お？あれだな？出し物ってのは」

将人の目の先には風神の穴の前になにやら奇妙な形をした箱が置かれている

将人（変だな・・・毎年この出し物は歌を歌ったり踊りを踊ったり賑やかなものばかりだったはずだが・・・）

ガヤガヤ・・・

将人（それにしても人が多いな・・・100人はいるんじゃないか???)

司会の男「みなさん・・・お待ちせいたしました。私、この出し物を実行させて頂きますあかつき暁と申します」

パチパチパチ

その男は黒い・・・いや・・・漆黒のスーツを着飾り・・・

どこかいやな空気をだしていた

観客から拍手が起き、鳴りやむと暁が話始めた

暁「みなさん・・・風神の伝説はご存じですか??」

皆はコクツと首を縦に振った

暁「それでは今日、この場で、その風神を・・・復活させます」

将人・翔「?!」

観客1「ほお。そりやすげえや！見せれるもんなら見せてくれよ」

観客2「えゝつまんない・・・かえろつか??」

観客からは当たり前前といえは当たり前だがそっけない返事が返ってきている

暁「それではご覧ください・・・ニヤッ」

そういうと暁は呪文を唱えだした

翔「なんだよあいつ・・・なんか気味悪いな。将人。行こうぜ？」

将人「あ、ああ・・・うん。行こう。翔」

正直いうと、怖かったんだ

なにが怖いかなんて知らなかった

でもなぜか逃げなきゃと思ったんだ

そうして俺たちは風神の穴から背を向け歩き始めた

そしてそろそろ祭り会場へ着く時

その時だった



しかし次の瞬間風神の穴の方角からなにかが飛んできた

翔「なんだ!？」

ドオオオオオン!!!!!!

その「なにか」が大きな音をたて俺らの前に立ちふさがった

暁「どこにいくんだい?？」

将人「お前はさっきの?!!...?!なんだそれは?!」

暁「ふふふふふ...さっき説明したじゃないか...:風神:だよ」

風神と呼ばれたものは体長は約10M程あり形はほとんど人間

しかし顔はまるで悪鬼のような顔つきをしており叫び声をあげていた

将人(なんなんだよこいつは...やばいよ絶対)

俺は怖くて...只...立ち尽くした

翔「将人!!!!!!」

将人「!!翔?!!」

翔「逃げるぞ!!」

暁「ふんっ……どうした?? 雅之マサユキの弟よ??ニヤッ」

将人「???. . .え??」

雅之「. . .俺の兄貴??は?え. . .なに???わからない. . .なぜこの男から俺の兄貴の名前が??」

暁「. . .なにもしらんようだな。もういい. . .殺せ、風神」

風神「了解した」

翔「しゃべれんのかよ?!おい将人いくぞ!!」

将人「ああ. . .」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4165q/>

---

風にふかれて

2011年1月28日02時19分発行